

# 今後の調査の予定

- 土石流が発生した溪流の現地調査（天候の回復などを考慮して実施）
- 雨量と土砂災害発生に関する精査
- 今回の豪雨における避難勧告，避難指示の判断過程の検証
- 先行雨量の少ない集中豪雨に対応する行政システムの検討
- 短時間集中豪雨による同時多発災害のメカニズムに関する調査と課題の整理
- 建築物の被害の状況と分析
- 水・土砂の氾濫解析
- 災害・避難情報の発信と住民の避難行動
  
- 6.29災害の教訓が活かされたことと活かせなかったこと。何故活かせなかったのか？
- 今後，同様の被害をどうやって防ぐか？
- 10月上旬を目途に報告書を作成，公表する。